

昭和音楽大学カリキュラム・ポリシー

本学は、建学の精神に基づき教育目的を達成するために、ディプロマ・ポリシーを踏まえ、各コースの教育課程を編成しています。

学生は、本学のカリキュラムを4年間履修し卒業要件を満たすことにより、専門知識や技能に加えて、社会人として求められる汎用的能力、態度・志向性、創造的思考力も学修成果として獲得することができます。

体系的な教育課程にしたがい学生が主体性をもって学修計画を立てられるよう、コースごとに履修年次を明記した教育課程を編成しています。「専門科目」、「外国語科目」、「教養科目」の科目区分を設け、それぞれ履修すべき単位数を定めています。

その中で、入学者が自ら学修計画を立て、主体的な学びを实践できるように、初年次教育科目は全学必修としています。また、「専門科目」、「教養科目」の中から、卒業後の進路や将来の目標を考える指針となる科目をキャリア科目として設定しています。さらに、すべての科目に対してカリキュラム・マップを作成し、科目ごとに獲得できる学修成果(専門的能力、学士力)を具体的に示しています。

学生の履修においては、1年間の履修単位に上限を設け、各科目の授業形態や成績評価方法等についてはシラバスに明記します。また、単位の実質化を図るため、授業外学修を明確に指示しています。

● 音楽芸術表現学科

○ 専門的能力

主に「専門科目」を通して、以下を獲得する。

- **基礎力:**初年次に、特に主専攻実技の基礎力を確実に身につける。経験や実力に応じてソルフェージュや音楽理論を基礎から学ぶ。副科実技によって、専門的能力の幅を広げる。
- **技術力:**徹底した実技指導を通して、各個人の演奏能力や表現力、創造力等を高める。成果発表等の実践を通して技術力を身につける。
- **専門知識:**音楽理論や西洋音楽史の学修を通して、作曲家や作品について理解する。各コースの特色ある必修の専門科目によって知識を深め、コースの枠を超えた多様な専門科目を選択履修することによって知識の幅を広げる。
- **表現力:**さまざまな形態等を専門的に学ぶことを通して、専門分野における表現力を高める。
- **実践的活動能力:**さまざまな実践の場を実習や演習を通して体験し、専門分野における実践的な活動能力を身につける。

○ 学士力

「教養科目」、「外国語科目」、「専門科目」の学修を通して、以下を獲得する。授業内容および主体的学修において、実技・演習形態の授業や、レポート作成、プレゼンテーション等の機会を通して以下を獲得する。

1. **知識・理解:**多文化・異文化に関する知識と理解、文化、社会と自然に関する知識と理解
2. **汎用的能力:**コミュニケーション能力、情報活用能力、論理的思考力、課題解決力
3. **態度・志向性:**自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、社会的責任、生涯学習力
4. **創造的思考力:**主体的な学修によって獲得した知識・技能を、さまざまな場面で自ら創造的に活用する。特に最終年次において、卒業論文、卒業制作、卒業公演等に取り組むことや実技試験の際のプレゼンテーションを通して獲得する。

● 音楽芸術運営学科

○ 専門的能力

主に「専門科目」を通して、以下を獲得する。

- **基礎力:**初年次に、特に各専門分野の基礎力を確実に身につける。またソルフェージュや副科実技等を通して、音楽や芸術の基礎を幅広く理解する。
- **技術力:**各専門分野において求められる高度な技術や技法を、専門科目を順次学修することにより身につける。また実技指導を通して、演奏表現力、創造力等を高める。
- **専門知識:**各コースの特色ある必修の専門科目によって専門知識を深める。またコースの枠を超えた多様な専門科目を選択履修することによって、知識の幅を広げる。
- **表現力:**さまざまな演奏形態等を専門的に学ぶことを通じて、専門分野における表現力を高める。
- **実践的活動能力:**さまざまな実践の場を実習や演習を通して体験し、専門分野における実践的な活動能力を身につける。

○ 学士力

「教養科目」、「外国語科目」、「専門科目」の学修を通して、以下を獲得する。授業内容および主体的学修において、実技・演習形態の授業や、レポート作成、プレゼンテーション等の機会を通して、以下を獲得する。

1. **知識・理解:**多文化・異文化に関する知識と理解、文化、社会と自然に関する知識と理解
2. **汎用的能力:**コミュニケーション能力、情報活用能力、論理的思考力、課題解決力
3. **態度・志向性:**自己管理力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、社会的責任、生涯学習力
4. **創造的思考力:**主体的な学修によって獲得した知識・技能を、さまざまな場面で自ら創造的に活用する。特に最終年次において、卒業論文、卒業研究、卒業公演等に取り組むことや、実技試験の際のプレゼンテーションを通して獲得する。